



保存版

■参加時には必ず携帯して下さい■

『ラ・パラ！開催趣旨及びルール＆マナー解説書』(第13版 2012/03 改訂)

**ライダーズパラダイス「ラ・パラ！」は
開催の趣旨と以下のルール＆マナーを理解し実行する方のみが参加できる
二輪走行練習会です**

**ルール＆マナーを軽視して 自分や他の参加者を危険にさらしたり
この貴重な場の存続を危うくする方は 固く参加をお断りします**

【開催趣旨】

日本には素晴らしいバイクと用品がたくさんあります。しかしそれを使う場所や機会が異常なほど少ない事に、あなたは気付きますか？例えば、普通に乘っているだけでは決して乗りこなせない高性能なバイクが数多くあるにもかかわらず、肝心の“練習”の場はほとんどありません。またバイクには色々なライディングジャンルがありますが、残念ながらなかなか交流する機会もありません。そのような現実を背景に『ラ・パラ！』は生まれました。『ラ・パラ！』の開催目的は大きく分けて3つあります。

① 上手くなって事故を減らす:

免許が取れても道で安心して乗れる運転技術は身に付いていない、というのは周知の事実です。ライディング技術と精神力を鍛え、上手くなることを楽しみ、技術不足やゆとりのなさから起きる事故を1件でも減らしたい。バイクには絶対にゼロにする事ができない“危険”というリスクが付いてきます。練習を積み重ねバイクの本質的なリスクを理解して初めて、その危険度を減らす事ができます。

② 学ぶを知る、自分を知る:

色々なジャンルで、こつこつと練習を積み重ねて、普通に乘っているだけでは分からないバイクの奥深さに触れたり、積極的に学ぶ方法を知る場をつくりたい。たくさんの人の中で乗ることで、自分の位置(実力)を正確に知る機会を作りたい。(①と絡みますが、位置を知れば無茶な走りをしなくなります。)

③ 純粋に自分のバイクでとことん遊ぶ:

「ストレスも悩み事も全部忘れてバイクを楽しむ」そんな場をつくりたい。

【バイク走行イベント開催の危機】

なぜバイクや用品は山のようにあるのに 肝心な“乗る場”が少ないのか？

◆理由その1◆経営的に成り立たない:

バイク練習場を作ったり 走行イベントを開催するには莫大な経費が掛かるため、営利目的の運営は困難です。つまりボランティアかメーカー・ショップの広告宣伝でしか成り立ち難いのが、開催の増えない大きな原因です。

◆理由その2◆事故のリスク:

開催中に万が一大きな事故が起きると、主催者や会場にはどうしようもないことまで責任を問われることがあります。国内の大きなサーキットのほとんどが今 裁判中といってもいい程です。このリスクの高さこそ、開催が増えない一番の原因です。

◆理由その3◆会場が少ない:

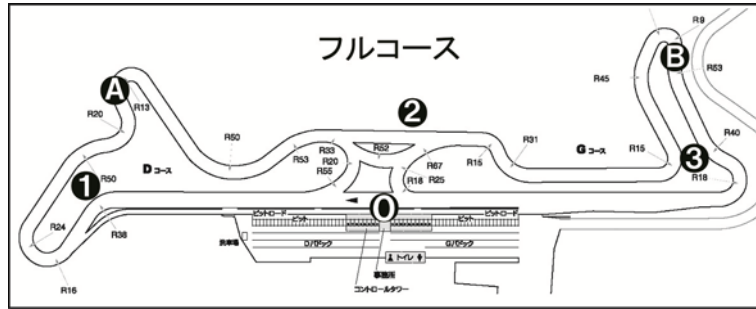
サーキットや練習場が近くにある人は幸せです。開催しようにも一般道を除くとバイクに乗れる場所はわずかです。そしてその一般道では、乗ることに慣れはしてもテクニックを上げることは容易ではありません。また他の車両やガードレール、その他の障害物が多々あるため、転倒がそのまま命に係わる事故になりかねません。

【最後に】いかに走行イベントの開催が難しいか、少し感じて頂けたでしょうか？

この難関を乗り越え『ラ・パラ！』を継続するために、ここにあるルールとマナーを理解して実行するのはもちろん、バイクの常識である「ケガと弁当は自分持ち」という精神を絶対に忘れないで下さい。その上で、『ラ・パラ！』を思いっきり楽しんでいただけるようスタッフ一同 心から願っています。



【ラ・パラ！ルール＆マナー】



1. 車両に付いての諸注意:

- 1) **ゼッケン装着:** 受付番号の数字のみを 走行中でもポストから読める文字でフロントに装着して下さい。
- 2) **テーピング箇所:** 灯火類・反射板(リフレクター)・ミラー(出来れば はずして下さい)。透明テープ不可。写真にナンバー等を写されたくない方は、写されては困る部分にもテーピングして下さい。
- 3) 『ラ・パラ!』には車検がありません。全員必ず以下の安全点検を自分で行って下さい。“コース上に物や液体等を落とさない”と“安全に止まる”ことが主な目的です。ドレンボルトのワイヤーロックを推奨します。
 - A) **オイル漏れのチェック:**
 - ①ドレンボルトが緩んでいないか? - 緩んでいた場合レンチで締める事。②オイルフィルターが緩んでいないか? - 緩んでいた場合手締めではなく必ずフィルターレンチで締める事。
 - B) **ラジエーターの液漏れチェック:**
サーキット走行は高回転になるためラジエーター内の温度上昇により圧力が高くなる事がありますので以下確認をして下さい。①ホースバントが緩んでいないか? ②ラジエーターキャップの圧力開放機能が正常に働いているか?
 - C) **パーツの緩みや落下の確認:**
 - ①各ボルトの緩みを点検ハンマーでチェックして下さい。
 - ②シート下収納スペースからの落下物が多いので確認して下さい。
 - D) **ガス欠:** コース上でガス欠は非常に危険です。コースインの前にガソリン量のチェックをして下さい。
 - E) **ブレーキに異常がないかの確認:** ①エアかみ ②パッドの磨耗 ③ローターの変形
 - F) **ブローバイガス還元装置を改造している車両:** 必ずオイルキャッチタンクを付けてください。キャッチタンク無しでは走行できません。
 - G) **インジェクション車両で転倒スイッチをカットしてある車両:** ライダーと車両が離れた時にエンジンが停止する装置を付けてください。

2. **装備についての諸注意:** 1) ひざ・ひじハード(またはCE規格相当)プロテクター 2)ライディングシューズ必須。肌が露出してはいけません。ツナギ・ブーツ・脊椎パッドを強く推奨します。ロードエンジョイにツナギ着用義務はありませんが、まず参加してみて、もっとサーキットを走りたいと思った方はツナギを用意してください。サーキット走行時 スポーツクラス・ミニバイクはプロテクター付革ツナギ(セパレートは 1 周つながるもの)・フルフェイスヘルメット・革グローブ・革ブーツ必須。痛いのはあなたです。出来るだけプロテクト効果の高い物を推奨します。
3. **コースインの際は**[A]の場所までは必ずコースの左端を走行してください(コースインの前に必ず 0 番ポスト下で走行券等のチェックを受けてください)。
4. **ピットインする際は**[B]の場所よりコース左端により、手を大きく挙げたり足を出すなどして後続車に十分アピールしてください。合図ができない場合は 左端を走行しコースから出てください。
5. **ピットロードは 30km/h 以下で走行して下さい。**
6. **転倒した場合は安全を確保しつつ素早くコース復帰を試みて下さい。** 復帰不可能な場合 ポスト員に手を振って知らせ、安全な場所へバイクと共に退避して下さい。コース内では必ずヘルメットをかぶっておくこと。自力でバイクの移動や退避が無理な場合はポスト員が救助に向かいますので、安全なところでお待ちください。その際ポスト員に向かって手を振るなどしてアピールして下さい。
7. **転倒者がいても決してコース上で止まらないで下さい。** 転倒者の保護や車両の回収はポスト員の仕事です。危険ですので、知り合いが転倒した場合も絶対に止まらないで下さい。
8. **転倒・オーバーラン等によりコースアウトし、コースに復帰する場合は必ず一旦停止の上、後続車の状況を確認し、安全確認を行って下さい。** 車両に土などの付着がある場合はすぐピットインして下さい。
9. **トラブル等でスロー走行をする場合は、周囲の状況に注意を払い、コースの左側を走行してピット**



インして下さい（普通に走行しているライダーに優先権があります）。

10. **マシントラブル等**でストップする際は、コース脇のダートにバイクを停めて下さい。コーナーの出口付近は避け、できるだけ安全な場所へ停める事。その際コース脇で作業等は絶対に行わないで下さい。
11. **走行中、他の車両を追い越す際、無理な追い越しは、危険ですので絶対に禁止**します。レースではありませんので、追い抜く車両との間に十分な間隔があるときに限り追い越し可とします。また、走行ラインを譲る際は次のことに注意して下さい。①急激にラインを変更したり速度を落としたりしない ②ラインを譲った後は後続車が追い越しを完了するまでラインを変更しない。
12. **走行中、他のライダーと接触、又は接触等が原因で転倒が発生した際は、走行終了後相手に対し声を掛け合うなどの気遣いを忘れないようにして下さい。**相手が悪い場合も損害賠償請求をしてはいけません。
13. 各ポスト(コース図中の数字がポストの番号です)にて旗が掲示されます。必ず旗の確認を行って下さい。見落としは重大事故につながりますので、確認する余裕のある速度で走行して下さい。**旗の意味は次の通りです。**

■ 黄旗(イエローフラッグ)	コース上に危険(転倒等)あり。減速して危険を回避。追い越し禁止。
■ 赤旗(レッドフラッグ)	コース内が危険な状態、またはケガ人・車両回収等のため、走行中断。十分に速度を落としてその周でピットインする。もちろん追い越し禁止。
■ 緑旗(グリーンフラッグ、シグナル)	0番ポスト位置でのみ掲示。コースが走行可能な状態であることを示す。
■● 黒旗の中央にオレンジ玉	オイル漏れなどの車両異常や装備に問題があるライダーに向かってゼッケン番号と共に掲示される。旗を出されたライダーはその周ですみやかにピットインし、ポスト員またはスタッフに原因を確認する。(ライダーに問題がある場合は通常は黒旗だが『ラ・パラ!』ではオレンジボールで代用)
■□ 黒旗の中央に黒玉	走行終了。0番ポストで振られる。1、2、3番ポストでは静止の黄旗。速度を落としてその周でピットイン。追い越し禁止。
■ 赤ストライプ付黄旗	コース上に問題があり安全な走行が出来ない。オイル漏れの可能性や落下物がある時など。ポスト員が落下物を拾いにコースに入る事があるので、十分減速して安全に通過する。

14. サーキット走行には[エンジョイ][スポーツ]等のクラス分け有り。**走行クラスは各自で1つに決め 必ずそのクラスの基準を守って走行**して下さい。途中変更可。[スーパーHi]は参加制限あり。
15. 事故は全て参加者の自己責任です。病院搬送の必要がある場合は、同行者同士で対処してください。同行者がいない場合は、救急車を要請します。
16. 事故は自己責任ですが、万が一負傷した場合の見舞金や救護費用、安全対策費等に充てるため、参加者全員による積立金を「ラ・パラ! 基金」とします。(基金の使用目的や見舞金給付方法はP.4参照)。また、後日見舞金の給付を申請をする可能性のある方は、必ず当日中に本部へ「事故及び負傷届出書」を出してください。翌日以降の届出は一切受け付けられません。基金は保険ではありません。二輪走行イベントが保険加入を受け付けてもらえない為の代替措置です。救急箱は本部に設置してあります。
17. **パドック内での諸注意(同行の見学者にもお伝え下さい)**
 - A) パドック内の走行は 20km/h 以下で。
 - B) エンジンをつけて走行する際は基本的にヘルメット着用。短い距離の移動でヘルメットを着用しない場合は各自すべての責任を負うこと。2人乗りの場合 タンデムシートの方は必ずヘルメット着用。
 - C) 歩行者や他の車両に常に気をつけて移動すること。
 - D) ピット・パドックへの4輪の乗り入れ・駐車は 緊急の場合を除き 会場撤収作業終了まで禁止。
 - E) 通路には車両を含め 物は置けません。車両・道具類はすべてピットエリアに収納してください。
 - F) ピットエリアでは車両・道具類を整頓し 広く場所を占領しないように譲り合って使ってください。
 - G) 貴重品はコインロッカーに保管するなどして、各自の責任で管理して下さい。
 - H) 会場内飲酒禁止(見学者含む)。BBQ やコンロ等の使用は火の管理とゴミの持ち帰り厳守で 砂利スペースのみで可。
18. 参加にあたって次の3点にご協力ください。①会場への協力として**ゴミのお持ち帰り**をお願いします(会場で購入されたものは所定の場所へ捨てて下さい。タバコは必ず喫煙所で。同行の見学者にもお伝え下さい) ②**ケガをしない余裕のある走行**を心がけて下さい。事故は痛いだけでなく、お金も時間もロスします。その上 他の参加者の走行時間を減らす事を忘れないでください ③**スムーズで気持ちのいいイベント**になるよう「**全員主役で全員スタッフ**」の精神で運営にご協力ください。



『ラ・パラ！基金』について

2012年3月現在

「ラ・パラ！」で万が一負傷した場合の見舞金や救護費用、安全対策費等に充てるため、参加者全員で1開催ごとに1人500円を積み立て「ラ・パラ！基金」とします。基金の使用目的や見舞金請求方法は次のとおりです。

1. 見舞金

通院 1日 1,000円(入院と合計で90日、事故日より100日限度)

入院 1日 1,500円(通院と合計で90日、事故日より100日限度)

【注意1】死亡・後遺症障害等の重大事故は対象外

【注意2】負傷した場合は必ず当日中に『事故及び負傷届出書』を記入し提出して下さい。当日提出していない方への見舞金給付はできません。

※『事故及び負傷届出書』は本部の救急箱に設置してあります。ご本人の記入が難しい場合は、同行者が代理記入し提出して下さい。一人参加の方で記入が難しい場合は、スタッフが代理記入します。

【注意3】通院治療費実費の日額が1,000円より少ない場合は実費支給となることがあります。

【注意4】基金の残金を越えての給付はありません。

◆見舞金請求方法◆

1. 当日『事故及び負傷届出書』を記入の上、提出して下さい。

2. 治療完了後または事故から100日経過後に事務局へ連絡の上、必要書類をお送り下さい。

【連絡先】 info@nporidersnet.org

◆必要書類◆

【通院見舞金】「診断書(コピー可)」又は「診察券・領収書のコピー」

*状況によっては両方必要となる場合があります。

【入院見舞金】「診断書(コピー可)」

*給付合計金額3万円未満の場合 領収書で代用できる場合があります。

2. 救護費用

1) 病院搬送及び緊急連絡に要する費用 1件 10,000円

病院への搬送は同行者同士で行うのが基本ですが、同行者がなく救急車の要請も断られた場合に、運営側の人と車で搬送したり、申込書に書かれた緊急連絡先へ連絡を取ったりするための費用です。

2) 事後処理費 1件 5,000円

見舞金の給付や事後処理のための費用です。

3. 救急用品費用

簡単な手当てができる薬やガーゼ等の救急用品を購入します。救急箱は本部と救護室の2ヶ所に設置してあります。

4. 安全対策費

安全な運営に必要と思われる用品や人件費、対策費等に充てます。

5. 積立期間

毎年2月1日より翌1月31日までの1年間。1月31日時点での残金は、運営費に充当されます。